

かぐらおが

(題字は初代学長 山田守英氏)

第 138 号

平成21年 9月30日

編集 旭川医科大学
発行 教務部学生支援課



『やはりペンギンは鳥でした…。』(旭山動物園)

(写真撮影：学生支援課)

卒業生の動向 (医学科)	2	サマーコンサート	6
卒業生の動向 (看護学科)	3	体育大会が開催されました	7
医大祭2009が開催されました	4	平成21年度解剖体慰霊式	7
北海道地区大学体育大会が開催されました	5	教員の異動	8
音楽の夕べ	6	医大祭2009を終えて	多田 裕樹 8

卒業生の動向(医学科)

平成21年3月25日(水)に本学を卒業した学生の進路状況は次のとおりです。

なお、個人情報保護法関連法律等の関係で氏名は掲載しておりません。

(学生支援課)

区 分		大学及び病院名等	平成20年度		
			男	女	計
進 学	道 内		0	0	0
	道外その他		1	0	1
	小 計		1	0	1
就 職	道 内	旭川医科大学病院	19	4	23
		北海道大学病院	3	1	4
		旭川厚生病院	1	2	3
		市立旭川病院	2	2	4
		その他	13	10	23
	計		38	19	57
	道 外	大学関係病院	4	6	10
		上記以外の病院等	16	9	25
	計		20	15	35
	小 計		58	34	92
未 定 ・ そ の 他			7	1	8
合 計			66	35	101

上記以外の病院名

道 内：遠軽厚生病院、帯広厚生病院、北海道社会保険病院、札幌東徳州会病院、道北病院、道北勤医協一条通病院、勤医協中央病院、市立札幌病院、札幌医科大学病院、札幌厚生病院、名寄市立総合病院、北見赤十字病院、KKR札幌医療センター

道 外：トヨタ記念病院、信州大学病院、千葉大学附属病院、国立病院機構大阪医療センター、福岡徳州会病院、淀川キリスト教病院、諏訪中央病院、東京大学附属病院、聖隷三方原病院、横浜市立大学病院、京都第二赤十字病院、岩手県中部病院、中通総合病院、公立陶生病院、江南厚生病院、木沢記念病院、松原徳州会病院、浜松医科大学附属病院、敬愛会中頭病院、盛岡氏赤十字病院、九州大学附属病院、横浜医療センター、東北大学病院、豊田厚生病院、新潟市民病院、成田赤十字病院、中部徳州会病院、長崎大学病院、足柄上病院、平鹿総合病院、東葛病院

卒業生の動向(看護学科)

平成21年3月25日(水)に本学を卒業した学生の進路状況は次のとおりです。

なお、個人情報保護法関連法律等の関係で氏名は掲載しておりません。

(学生支援課)

区 分		大学及び病院名等	平成20年度		
			男	女	計
進 学	道 内		0	1	1
	道外その他		0	0	0
	小 計		0	1	1
就 職	道 内	旭川医科大学病院	2	19	21
		北海道大学病院	0	3	3
		KKR札幌医療センター	0	2	2
		北海道社会保険病院	0	5	5
		その他	1	17	18
	計		3	46	49
	道 外	大学関係病院	0	9	9
		上記以外の病院等	0	6	6
	計		0	15	15
	小 計		3	61	64
未 定 ・ そ の 他			0	3	3
合 計			3	65	68

上記以外の病院名

道 内：森産科婦人科病院、北仁会旭山病院、函館五稜郭病院、西札幌病院、旭川厚生病院、帯広厚生病院、市立旭川病院、札幌市役所、苫小牧市役所、雄武町役場、苫前町役場、新冠町役場、恵庭市役所、新十津川町役場、当別町役場、利尻富士町保健センター、愛別町役場

道 外：東海大学附属病院、飯塚病院、聖路加国際病院、虎の門病院、京都大学附属病院、医療法人聖マリア病院、東京歯科大学市川総合病院、社会福祉法人加納総合病院、葛飾区役所

医大祭2009が開催されました

去る6月12日(金)、13日(土)、14日(日)の日程で、本学の大学祭である「医大祭2009」が開催されました。今回は「SHOW 一招・笑・匠・翔一」と題し、医大祭が地域医療をさらに活性化するきっかけとなるようにという願いを込めて開催されました。一般公開日である土曜日は快晴となり、大勢の来場者が朝早くからフリーマーケットや模擬店にいられて大変盛況でした。特に会場内に設置されたゲームコーナーでは、ビンゴ・ゲームが行われ大勢の小さなお客様が大きな歓声を上げていました。

恒例の音楽系団体によります医大祭コンサートは、室内合奏団のコンサートが病院玄関ロビーを会場に開催されました。その演奏に沢山の聴衆が集まり心癒される一時を過ごしていました。また、医科大学という特性を生かした「医学健康ひろば」には老若男女沢山の方々が救命救急講習、健康チェックコーナー、妊婦・老人体験・逆転めがね体験コーナーにてテーマに沿った医大祭を体験されていたようです。看護学科棟大講義室において日本骨髄バンク(骨髄移植推進財団)地区普及広報委員の加藤 弦氏によります「骨髄移植の実際と骨髄バンクの仕組み」と題した講演会が開催されました。その後、元プロ野球選手でタレントのパンチ佐藤氏によりますトークショーが開催されました。夜は恒例の花火が打ち上げら

れ医大祭の夜を華やかに彩っていました。

翌日の日曜日(最終日)は、看護学科棟大講義室において麻醉・蘇生学講座の岩崎 寛教授によります「今、緩和医療について考える - 『風のガーデン』で伝えたかったこと -」と題した医大祭ならではの公開講座が開催されました。前日に引き続いての音楽系団体による医大祭コンサートは、ブラスアンサンブルと合唱部が学生食堂にて開催しました。

会場には沢山の聴衆が訪れ、その演奏に聴き入っていました。また、体育館にて恒例の「お笑いライブ2009」が開催され沢山の来場者で盛り上がっていたことと思えます??最終日は朝から生憎の雨となりましたが、テラスの模擬店にも大勢のお客様がいられて、傘を差して模擬店をハシゴしながら医大祭を満喫していた姿が印象に残りました。

最後になりますが、今年の実行委員会やスタッフは未経験者が多かったと聞いていましたが、各学生団体や実行委員会並びにスタッフが、いろんなイベントに一生懸命に努力していた姿はすばらしいと感じました。

来年もまた今年以上に地域に開放された大学の姿を見せることができる医大祭を目指してほしいと心から願っています。(学生支援課)



▲こちら、受付です



▲クレープ屋さんです



▲コンサートへいらっしゃい



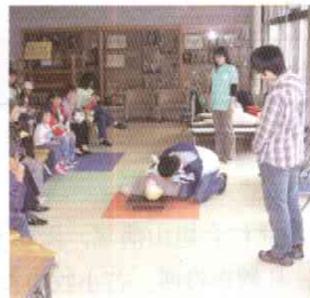
▲はい、どうぞ



▲老人体験です



▲フリーマーケット



▲救命講習です



▲健康チェック!!



▲今日は大漁だ〜



▲笑顔売ってます



▲大人気ビンゴ大会



▲ビンゴ(賞品ゲット!)

北海道地区大学体育大会が開催されました

平成21年7月3日(金)～21日(火)、8月9日(日)の日程で第56回(平成21年度)北海道地区大学体育大会が本学を当番大学として道内各地におきまして開催されました。

本学は、当番大学の担当種目である「陸上競技」を土別陸上競技場を競技会場として、「柔道」を本学体育館を試合会場として7月11日(土)に開催しました。また、分担種目である「男女バスケットボール」を旭川市総合体

育館と美瑛町スポーツセンターの2ヶ所を試合会場として7月17日(金)～19日(日)の日程で開催しました。どの会場も熱い闘いが繰り広げられ、競技を通じて各大学の学生が交流を温めていた姿が印象に残りました。

なお、各競技の結果は別表のとおりとなっておりますので、掲載して当番大学の報告といたします。

(学生支援課)

第56回(平成21年度)北海道地区大学体育大会「種目別上位」成績表

種目	男 子				女 子			
	優勝	準優勝	第3位	第3位	優勝	準優勝	第3位	第3位
総合成績	道都大	酪農学園	苫駒澤大		北大	北星学園	札教大	
陸上競技	東海札幌	岩教大	北大		岩教大	札教大	北大	
硬式野球	道都大	苫駒澤大	北大	旭川大				
準硬式野球	札医大	東海札幌	北大	釧公大				
バスケットボール	道都大	酪農学園	旭教大	岩教大	旭教大	北星学園	帯畜大	酪農学園
バレーボール	東海札幌	道都大	釧教大	旭川大	道都大	旭川大	藤女子大	東海札幌
サッカー	苫駒澤大	岩教大	北大	旭医大				
バドミントン	旭教大	函教大	釧公大	苫駒澤大	北大	旭医大	札教大	樽商大
柔道	道都大	専修短大	旭教大	酪農学園				
剣道	酪農学園	函館大	樽商大	北見工大				
弓道	酪農学園	北見工大	札医大		北大	北星学園	帯畜大	

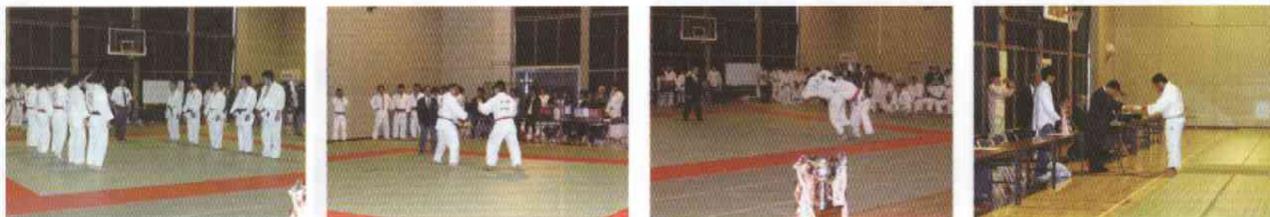
陸上競技



バスケットボール



柔道



2009年度旭川医科大学音楽系5団体合同コンサート「音楽の夕べ」

7月20日(月)午後2時00分より、病院玄関ロビーにおきまして本学音楽系5団体によります合同コンサート「音楽の夕べ」が開催されました。

このコンサートはギター部、合唱部、室内合奏団、ブラスアンサンブルが自分たちの夏休みのひと時を利用して入院されている方々に癒しと安らぎの時間を提供し日頃の練習の成果を披露する場として病院職員の方々のご理解とご協力のもと毎年開催しています。

本年は新たにジャズ研究会が参加しての5団体が開催に向けて準備をしていました。

当日は、休日の昼間という忙しい時間帯にも関わらず

入院されている方々はもとより、お見舞いの方々や近隣の方々が大勢来場され、それぞれの団体の趣向を凝らした演奏に対して掛声や拍手、そして沢山の拍手にて盛り上げていただき、夏日のひと時を楽しんでいただいたようです。

ギター部



ジャズ研究会



合唱部



室内合奏団



ブラスアンサンブル



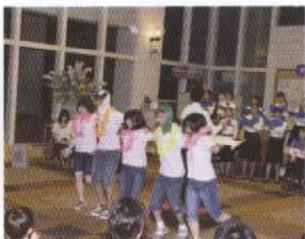
サマーコンサート開催される

合唱部「サマー・コンサート」

7月25日(土)午後6時30分より、病院玄関ロビーにおきまして「2009年度旭川医科大学合唱部サマー・コンサート」が開催されました。今回のコンサートは、合唱曲・唱歌に加えてポップスを含めた全11曲が演奏されました。入院されている方々をはじめ来場された方々が暑い夏の一時を涼しい歌声に耳を傾けていました。

ギター部「サマー・コンサート」

7月26日(日)午後4時00分より、病院玄関ロビーにおきまして、本学ギター部によります「サマー・コンサート」が開催されました。このコンサートは、ギターの音色と歌声で入院されている方々の暑い夏の日を少しでも安らぐようにと企画されたものです。当日は、日曜日の夕方にもかかわらず近隣からも多数の方々が来場され、全13曲が演奏され、最後の曲「少年時代」は、参加者全員による演奏となり沢山の拍手が贈られていました。



体育大会が開催されました

夏休みも終わり急に季節が秋めいてきた8月27日(木)に体育大会が開催されました。今年の大会は、恒例のバレーボール、バスケットボール、ソフトボール、サッカーが企画されました。当日は、曇り空で時おり小雨が降ったりしましたが、中止されることなく、無事に全種目が開催されました。

体育館にて開催されたバレーボール、バスケットボールには日頃の運動不足やストレスを解消するかのような熱戦が繰り広げられ、また、外で開催されたソフトボールやサッカーでは、日々の勉強や前期試験に挑む意気込みを感じました。



▲ バレーボール



▲ バスケットボール



▲ ソフトボール



▲ サッカー



平成21年度解剖体慰霊式

平成21年度解剖体慰霊式が9月16日(水)午後1時30分より本学体育館において執り行われました。

慰霊式においては、本学学生等の教育及び学術研究用に尊い遺体を提供され、医学発展の礎石となられた方々の精霊の御霊に対して、ご冥福をお祈りするために黙とうが捧げられ、引き続き吉田学長と学生代表(医学科第3学年朝倉千恵)から追悼の辞が述べられました。

その後、御遺族と御来賓の方々並びに教職員、学生の代表からの献花が捧げられ、亡くなられた方々の御遺徳を偲びご冥福を祈念しました。

追悼の辞

学 長 吉 田 晃 敏
 学生代表 医 学 科 3 年 朝 倉 千 恵

献 花

学 長 吉 田 晃 敏
 学生代表 医 学 科 3 年 朝 倉 千 恵
 医 学 科 3 年 小 池 洋
 看 護 学 科 2 年 稲 葉 留 奈
 看 護 学 科 2 年 殿 塚 美 幸

謝 辞

解剖学講座(機能形態学分野)教授 吉田 成孝



▲ 吉田学長による追悼の辞



▲ 学生代表による追悼の辞



▲ 献花を捧げる吉田学長



▲ 吉田教授による謝辞

教員の異動

H21. 6. 1	昇任	病院産科婦人科	講師	宮本敏伸
H21. 7. 1	昇任	医学部内科学講座（消化器・血液腫瘍制御内科学分野）	講師	大竹孝明
H21. 9. 10	昇任	医学部健康科学講座	教授	西條泰明
H21. 9. 10	昇任	保健管理センター（保健管理センター所長）	教授	川村祐一郎

医大祭2009を終えて

旭川医科大学祭実行委員会

実行委員長 多田裕樹



医大祭も終わって、早二ヶ月が経ちました。実行委員会の残務はほぼ終了し、いつも頭のどこかで医大祭のことを考えているクセも徐々になくなってきました。

今年の医大祭は「SHOW一招・笑・匠・翔一」をテーマに掲げ、

地域の方々との交流と地域医療の発展を願い、そのきっかけに少しでもなれるような医大祭を目指して実行委員一同でやってきました。その努力が実ったのか、新型インフルエンザの拡大や当日少しくずついた天気にも負けず、多くの方々に足を運んでいただき、例年に勝るとも劣らぬ盛況となりました。

また今回はこのテーマのもと、より多くのお客さんをお呼べるような企画と、匠の字に込められている医学展、健康広場、公開講座に力を入れようという計画で、例年の方法に修正を加えたり新しい企画を盛り込んでいきました。お笑いライブは宣伝やチケット販売の方法を強化し、医学展・健康広場では献血車と呼んだり体験型のブースを新たに増やしました。公開講座は会場や時間の変更により多くのお客さんに来ていただくことができました。毎年のことを引き継ぐのではなく新しいものに変えていくことには、前例のないことによる不安が付きまとい、場所と人員の調整やタイムスケジュールに変更が出るなど多くの問題と議論がありましたが、結果的に大きな失敗もなく、良い結果を得られたのではないかと思います。

僕自身が実際に医大祭の運営に携わって感じたことは、マンパワーがいかに大きなものかということです。今年の実行委員会は委員を経験したことのあ

る人が少数で、何をしたらいいのかもわからず、当初はほぼ手探りの状態でした。前年の実行委員の先輩に質問したり、学生支援課の方々に話を聞いたりしながら委員は学び、お互いに相談しながら準備を進めてきました。医大祭を運営していく上でまず重要となるのが広告料集めで、地域の企業やお店、病院などに協賛をお願いしていくのですが、これには委員全員が携わり、分担して走り回りました。そして予算のめどが立つと各企画担当がイベントを決めていき、そしてその詳細を集めてパンフレットの形に印刷していきます。当日の段取りも、タイムスケジュールの作成や委員・ヘルパーの配置、会場設営といった多くの仕事を、たくさんの人たちが協力して進めていってくれました。今年の医大祭はこういった人たちの頑張りの結晶であったのではないかと思います。

自分にとって、これだけ大きな委員会の委員長であることは大変なプレッシャーだったのですが、それだけに何事にも代えがたい経験をさせていただきました。やっていく中で苦労や悩みはありましたが、それも含めてとても良い思い出となりましたし、大きな充実感を得ました。このことは委員みんなにも言えることでしょう。後輩のみなさんには来年以降さらにより医大祭を作り上げて、素晴らしい思い出としていてほしいなと思います。

最後になりましたが、実行委員会・ヘルパーと学生支援課の皆様をはじめ医大祭に関わってくださったすべての方と、ご来場された皆様、おかげさまで医大祭を無事終えることができました。本当にありがとうございました。